

第14回
アシタシア
サロン

「楽しむ」とはどういうことか — 哲学的探究からの学びへの視座 —

『中動態の世界 意志と責任の考古学』、『目的への抵抗』、『手段からの解放』等の話題著作にて注目を集める國分功一郎先生をお招きし、スピノザ、カント等の一連の哲学的探究からみた、現代社会の課題と、学びの本質、社会と個人のあるべき関係性についてお話しをいただきます。大学の学び、社会での生き方についての哲学を学ぶ貴重な機会です。

2025年 **8月 8日 (金)**
18:00～20:00 (開場 17:30)

会場：愛知大学名古屋キャンパス
講義棟3階 L307教室
(名古屋市中村区平池町4-60-6)

参加費 **無料** | 定員 **300名** 申込先着順

申込

2025年8月4日(月)までに、右の二次元コード
または下記URLのアシタシア公式サイトより
会場参加登録をお願いします。

※先着順・メールアドレス必須



https://www.aichi-u.ac.jp/asitasia/event_salon

プログラム

開会あいさつ (18:00～18:05)

愛知大学学長 広瀬 裕樹

アシタシアサロン開催趣旨説明 (18:05～18:15)

愛知大学ささしま地域連携研究センター長 太田 幸治

講演 (18:15～19:45)

東京大学大学院総合文化研究科教授 國分功一郎 氏

演題：「楽しむとはどういうことか」
— 哲学的探究からの学びへの視座 —

質疑応答 (19:45～20:00)

講師紹介



©SHINCHOSHA

東京大学大学院
総合文化研究科 教授 **國分功一郎 氏**

1974年生まれ。専攻は哲学。
2017(平成29)年、『中動態の世界 意志と責任の考古学』で小林秀雄賞を受賞。著書に『暇と退屈の倫理学』、『ドゥルーズの哲学原理』、『近代政治哲学』、『スピノザ—読む人の肖像』、『目的への抵抗』、『手段からの解放』、『〈責任〉の生成—中動態と当事者研究』(熊谷晋一郎と共著)等がある。

アシタシアについて… 愛知大学は1901年に中国上海に設置された東亜同文書院を前身として、1946年に愛知県豊橋市に設立されました。建学の精神を「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」としています。これらを実践するために、2018年より、文部科学省私立大学研究ブランディング事業に選定された「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」の研究活動の一環として、名古屋市ささしまライブ地区に開校した名古屋キャンパスを拠点とした『越境地域マネジメント活動』のアシタシアを始動させました。サロン、トークライブ、研究会の活動を通して、地域連携教育・研究活動を発展させていきます。

【会場】
愛知大学 名古屋キャンパス
講義棟 3階L307教室
(名古屋市中村区平池町4丁目60番6)

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

※天候等の状況により会場参加が不可になる場合があります。公式サイトで最新情報を確認の上ご来場ください。

